

事務事業名	地域子どもすくすく元気事業（子育て支援事業）				担当	健康福祉部 三つ子の魂育成推進室	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8157	
施策名	2	子育て支援の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市ふれあい地域づくり推進交付金交付要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 13 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	1一般管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	地域の誰もが生きがいをもって安心して暮らせる真岡市を築くため、市民の創意工夫を基に、市民と行政が一体となって地域づくりを推進し、思いやりを育み、誇りと愛着の持てる個性豊かな地域を創造することを目的とした「地域づくり事業」の中で、三つ子の魂育成を基本とした子育ての啓発事業と地区が独自に実施する子育て支援事業に交付金を交付する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 26年度実績 ・地域づくり説明会後に、希望する地区に実施計画書の提出を求め、事業の認定 交付金の交付 事業の実施 実績報告書の提出 精算の順で行う。 ・事業内容：地区公民館への絵本文庫設置、地域の子育て支援者・三つ子の魂育成推進室職員による子育て親子の交流事業など  27年度計画 ・事業の認定や実施区への支援を行う。 ・講話の機会に事業の周知を図る。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移									
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)		
	ア	交付金額	千円	290	253	328	355	360		
	イ	事業実施区数	区	12	12	14	13	15		
	ウ	事業参加人数	人	869	945	1,219	905	1,000		
エ										
オ										
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・全地区	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移									
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)		
	ア	全区数	区	134	134	134	134	134		
	イ									
	ウ									
エ										
オ										
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・地域全体で健全な子育て体制を作る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移									
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)		
	ア	助成を受けた区	区	12	12	14	13	15		
	イ									
	ウ									
エ										
オ										
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・地域で子育て支援が図られている。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移									
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)		
	ア	助成を受けて子育て支援が実施できた割合	%	100	100	100	100	100		
	イ									
	ウ									
エ										
オ										
(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	290	254	328	355	0	
	事業費計(A)			千円	290	254	328	355	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0	
			延べ業務時間	時間	50	50	50	50	0	
			人件費計(B)	千円	212	210	203	211	0	
			トータルコスト(A)+(B)			千円	502	464	531	566

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・「地域の子は地域で育てよう」という「地域ぐるみの子育て意識の醸成」を図るため、平成13年度から開始された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・自治会へ加入しない子育て世帯が増え、地域社会とのつながりも希薄化している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・地域の子育て情報交換ができて良い。（支援事業に参加している母親） ・祖父母、親と子、全世代が参加できる事業として取り入れている。（区長）

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域における子育て支援の充実に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 子育て支援は市の重点事業なので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 全地区を対象としているので適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・全地区に呼びかけているので向上余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・地域の子は地域で守り、子育てを支援していく意識が希薄になる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の経費であるため削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の人件費であるため削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・全地区を対象にしているので公正公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							